

雨に映える紫陽花の花も美しく、爽やかな季節となりました。
鋼和会会員の皆様には、お健やかに過ごしのことと存じます。

先日、鋼和会幹事 山本 小四郎様よりお便りを頂きました。
山本様が入社された当時を写真と共にお話してくださっています。

ぜひご一読くださいませ。

何かと不便の多い今日ですが、この状況が一日も早く解消され、平穏な日々が取り戻せるよう
心から願っております。





思い出と写真たち

山本 小四郎

昭和44年4月に入社、技術部（現在の設計部）に配属になりました。
当時は高度成長期のまただ中で毎日2.5～3.5時間残業の連続でした。

会社からT定規、図面用の三角定規、三角スケール、そろばん、字消し板、道路橋示方書、設計資料等を貸与されました。

図面はT定規からドラフターを使用して書くようになり作成時間が大幅に短縮されました。ドラフターでは、いろんな角度の平行線を引くことが出来、感動しました。若い人ばかりでみんな競争して図面を描いていたようです。早い人は日に、3枚くらい仕上げる先輩もおられました。

設計計算には計算尺を使用される人もおられましたが、有効数字の取り方など難しく、私は機械式のタイガー計算機とそろばんを使用しました。

計算機ではレバーを引いてハンドルを回すことでかけ算、割り算、ルート計算ができる物でした。材料計算にも使用し、ハンドルを回す速度が仕事早さに比例したようです。4～5年後には材料計算はパンチカード式になり電子計算機で行うようになりました。

そんな中で楽しみのひとつでありました年1回の旅行会がありました。
写真を数枚添付いたします。



技術部(現・設計部) 旅行会



青木ヶ原樹海 天然記念物 富岳風穴、鳴沢氷穴周遊記念



北備讃瀬戸大橋の浜出し

右側の起立架台に横トラス 2 面、
左側の起立架台に主構トラス 2 面を搭載

関西空港連絡橋(箱 4)の浜出し

千葉臨海工場にて製作、地組立を防府工場岸壁で
実施しました。鋼床版上には現場で使用されるク
レーン車も搭載しています。



取手工場ソフトボール大会

プライベートにて

先輩と東北の秋田駒ヶ岳～乳頭山を縦走
しました。

